

# 令和7年度 第4回富里市地域公共交通会議 会 議 録

日 時 令和8年3月24日（火）午前9時30分

場 所 富里市役所 すこやかセンター2階 総合健診室

所 属	氏 名	出 欠
富里市 副市長	山根 康夫	○
富里市 総務部長	五十嵐 信幸	○
富里市 企画財政部長	竹本 明	○
富里市 健康福祉部長	藤田 明美	○
富里市 経済環境部長	細野 亮	○
富里市 都市建設部長	曾根 明宏	○
富里市 教育部長	枝村 光久	○
京成バス千葉イースト株式会社 営業部長	梅田 和也	○
ジェイアールバス関東株式会社 成田空港支店長	田中 圭一	○
京成タクシーイースト株式会社 代表取締役社長	馬上 渉	○
千葉交通労働組合 書記長	伊藤 賢	×
一般社団法人 千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	○
国土交通省関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	菅井 規	×
千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長	伊藤 昌央	【代理人】 進 浩一郎
成田警察署 交通課課長	山本 進一	【代理人】 鈴木 香住
公募市民	寺井 繁樹	○
公募市民	伊藤 裕通	○
公募市民	石井 寿恵子	○
富里市区長会 会長	長谷川 英利	○
富里市シルバークラブ連合会 会長	高橋 保夫	○
富里市PTA連絡協議会 根本名小学校PTA会長	竹崎 めぐみ	○
日本大学理工学部 教授	伊東 英幸	○
成田国際空港株式会社 地域共生部長	高梨 弘子	【代理人】 宮田 真行
富里市社会福祉協議会 会長	宮川 朱実	×



《事務局》

- ・ 富里市企画財政部経営戦略課：山崎課長、須永課長補佐、平岡主査、渋谷主査補

《配布資料》

- ・ 次第、委員名簿、席次
- ・ 資料 1：令和 7 年度富里市地域公共交通会議歳入歳出補正予算書（案）について
- ・ 資料 2：令和 8 年度富里市地域公共交通会議歳入歳出予算書（案）について
- ・ 資料 3：富里市地域公共交通計画の改訂スケジュール概要について
- ・ 資料 4：令和 8 年度キャロリン号の運行について
- ・ 資料 5：令和 8 年度開催の会議スケジュール（案）について
- ・ 資料 6：デマンド交通に係る運行経費について
- ・ 資料 7：令和 8 年 3 月議会一般質問答弁要旨について
- ・ 資料 8：成田国際空港アクセスバス導入の検討について
- ・ 資料 9：キャロリン号導入における Well-Being への影響について

次 第	
▶	令和 7 年度第 4 回富里市地域公共交通会議
1	開 会
2	挨拶
3	協議事項
	(1) 令和 7 年度富里市地域公共交通会議歳入歳出補正予算書（案）について ----- 資料 1
	(2) 令和 8 年度富里市地域公共交通会議歳入歳出予算書（案）について ----- 資料 2
	(3) 富里市地域公共交通計画の改訂スケジュール概要について----- 資料 3
4	報告事項
	(1) 令和 8 年度キャロリン号の運行について ----- 資料 4
	(2) 令和 8 年度開催の会議スケジュール（案）について ----- 資料 5
	(3) デマンド交通に係る運行経費について----- 資料 6
	(4) 令和 8 年 3 月議会一般質問答弁要旨について ----- 資料 7
	(5) 成田国際空港アクセスバス導入の検討について ----- 資料 8
	(6) キャロリン号導入における Well-Being への影響について ----- 資料 9
5	そ の 他
6	閉 会



## 令和7年度第3回富里市地域公共交通会議

### 1 開 会

### 2 挨拶

#### 【会長】

日頃から、市が進めている地域公共交通施策にご理解・ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。本日の会議は、来年度に向けた予算、公共交通計画の改訂、新たなデマンド交通（キャロリン号）の運行体系、また、共同研究を実施しました日本大学理工学部の研究2テーマとなる。

### 3 協議事項

#### (1) 令和7年度富里市地域公共交通会議歳入歳出補正予算書（案）について

#### 【会 長】

事務局から説明を求める。（資料1を基に事務局より説明）

#### 【会 長】

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。

#### 【会 長】

令和7年度富里市地域公共交通会議歳入歳出補正予算書（案）について事務局（案）のとおりとしてよろしいか。

#### 【委 員】

異議なし。

#### 【会 長】

令和7年度富里市地域公共交通会議歳入歳出補正予算書（案）について事務局（案）のとおりとする。

#### 協議事項（1）について【承認】

#### (2) 令和8年度富里市地域公共交通会議歳入歳出予算書（案）について

#### 【会 長】

事務局から説明を求める。（資料2を基に事務局より説明）

#### 【会 長】

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問は



あるか。

**【梅田委員】**

一点だけ確認で、増額となった分は計画の改訂に伴う委託費用か。

**【事務局】**

計画の改訂に伴う委託費用となる。

**【会 長】**

令和8年度富里市地域公共交通会議歳入歳出予算書（案）について事務局（案）のとおりとしてよろしいか。

**【委 員】**

異議なし。

**【会 長】**

令和8年度富里市地域公共交通会議歳入歳出予算書（案）について事務局（案）のとおりとする。

**協議事項（2）について【承認】**

**（3）富里市地域公共交通計画の改訂スケジュール概要について**

**【会 長】**

事務局から説明を求める。（資料3を基に事務局より説明）

**【会 長】**

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。

**【成田委員】**

令和8年度第1回目の会議は委託業者の選定前となるがアンケート調査の概要などが示されるか。また令和8年度の事業計画はどのようになるのか伺いたい。

**【事務局】**

第1回目の会議では、計画改訂の業者をプロポーザルでの選定を予定していることから、仕様に盛り込む内容などをお示しできればと考えている。

令和8年度の事業計画としては運行体系が大きく変わることから運用後の状況や、令和8年でメインとなる公共交通計画の策定に向けた協議などを予定している。



**【成田委員】**

次の改訂で次の計画をどのようにしたいかについては見えるかたちで進めていただきたいと要望する。

前計画の各項目の達成状況評価などを基に次の計画にバトンをつないでいくことが重要と考える。

**【会 長】**

富里市地域公共交通計画の改訂スケジュール概要について事務局（案）のとおりとしてよろしいか。

**【委 員】**

異議なし。

**【会 長】**

富里市地域公共交通計画の改訂スケジュール概要について事務局（案）のとおりとする。

**協議事項（3）について【承認】**

**【会 長】** 本日の協議事項は以上となる。（全ての協議事項終了）

#### 4 報告事項

**（1）令和8年度キャロリン号の運行について**

**【会 長】**

続いて報告事項となる。

事務局から説明を求める。（資料4を基に事務局より説明）。

**【会 長】**

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。

**【成田委員】**

令和8年度からの運行体系は混雑状況の緩和と経費の抑制についての検討を基に提案されていることは承知しているが、昨今の燃料費の高騰が運行事業者にとって相当な負担となり運行が困難な状況となった場合には、その救済策は早め早めにとった方が良いのではないかと考えており、これは意見として発言させていただく。

**【事務局】**

この度の予算については運行事業者との協議により決定させていた



だいたいのものであるが、社会情勢など注視しながらその都度対応したいと考えている。

**【伊東委員】**

運行台数の増減についての市民への周知はどのようなかたちで行ったか。

**【事務局】**

広報などを通じて周知した。また、直近の議会の中でも説明をさせていただいたところである。

**【伊東委員】**

混雑の状況が、これで少しでも解消すればよいと期待している。また、利用状況をみると13時台の利用が多く7時台の利用が少ないことからもう少し分散されると混雑状況の改善には良いのではないかと思った。

**(2) 令和8年度開催の会議スケジュール(案)について**

**【会 長】**

事務局から説明を求める。(資料5を基に事務局より説明)。

**【会 長】**

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。

**【委 員】**

質疑なし

**(3) デマンド交通に係る運行経費について**

**【会 長】**

事務局から説明を求める。(資料6を基に事務局より説明)。

**【会 長】**

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。

**【成田委員】**

資料の中で令和7年度の利用者一人当たりの運行委託料は2,068円となっているが今後の目標値などの考えはあるか。バスなど他の公共交通機関にも影響してくることも考えられることからお伺いする。

**【事務局】**

一人当たりの運行委託料について、利用者が順調に増えてきた結果



に伴い、徐々に安くなっているが、この数値をさらに下げること自体を目指すものではないと捉えている。現在の予算の範囲の中でうまく運行をやりくりし改善していければと考えている。

#### (4) 令和8年3月議会一般質問答弁要旨について

【会 長】

事務局から説明を求める。(資料7を基に事務局より説明)。

【会 長】

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。

#### (5) 成田国際空港アクセスバス導入の検討について

【会 長】

研究者から説明を求める。(資料8を基に事務局より説明)。

【会 長】

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。

【成田委員】

QRコードの読み取りによるアンケート調査実施ということであるが、外国人の方などは回答しているか。

また、空港へお勤めの方が多くなっている中でどちらかという旅行者ベースでの研究となっており、通勤通学の視点での整理があるよりも良かったのではないかと思う。

【小川氏】

外国人を含めた市民の無作為抽出で行っている。個人を特定できるようなかたちでの集計は行っていないので、外国人の方が回答されたかまでは具体的に把握はしていない。

【伊東委員】

今回の調査では、利用目的を最大2つまで選択できるように設定しており、収支に一番大きく関係してくるのはバス利用であり通勤通学がメインとなってくる。当初の想定どおり観光と通勤・通学が多い結果となり、回数での集計であることから通勤と比べれば観光としての頻度は少ない結果であった。

【成田委員】

インターネットなどで他市のバス輸送量なども公表されるようにな



ってきていることからそうしたものも取り入れると、なお良い研究となるのではないかと思う。

**【伊東委員】**

今回のルート設定については市とも相談し、パークアンドバスライドの拠点として使えそうなルートで、運行距離もあまり長いと回数を運行できないことからこのシンプルなルートで検討した。八街など複数の自治体をまたがったルートの検討もありかなと考えている。

**【成田委員】**

今回、経費試算もしてあるが、試算するときにはバス事業者にも相談していると思うが、市が運行する場合か自主路線として運行するかによっても変わってくると思うが、どのような聞き方で出た試算か差支えのない範囲で伺いたい。

**【梅田委員】**

費用に関しては、車両についても実際は耐用年数で割るなどして経費算定するところであるが、試算の中ではかなり安価なかたちでみている。また、45分ごとのダイヤでいくと1日6人程度運転手が必要となってくると思うが、弊社にあっては折からの運転手不足の影響は少なく東北からの就職者などもおり、やめた方の補充よりも若干のプラスとなっているが運転手確保の問題も出てくると思う。以前は富里から空港まで、だいたい距離を走るルートで運行していたこともあったが乗客が少なく廃止となった経緯もある。出入路が色んなところから入れるようになれば、45分が30分になったりということで経費的に抑制できる部分もあると思う。懸念点としては、車両の購入費も現在は上がってきており中型車であっても300万・400万上がってしまっているとも聞いている。

**【宮田委員】**

非常に良くできたプレゼンをありがとうございます。今回の調査でこの調査はQRコードで実施し、この後の報告事項の調査では用紙配布による調査ということで違う方法とした意図があるのかお聞きしたい。

**【小川氏】**

紙郵送であると経費がかなり掛かる点や、QRコードでは集計をそ



の場で終えることができる利点から採用した。

**【伊東委員】**

デマンド交通のように高齢者が多く使うものの調査でQRコードとした場合、当然回答率が低くなってしまう。この調査の中ではある程度、生産年齢人口を対象としており想定として若い方の回答を多く見込んだことからQRコードによる支障がないのではないかということから採用した。用紙配布であると回答の返信費用も掛かることから高額となってしまいうことも考慮した。

**【宮田委員】**

資料12ページ。利用目的のなかで、通勤・旅行・出張については将来にわたっての予想がある程度つくと考えているが、買い物とその他の項目が多くなっていることが見てとれた。私たち、空港関係者としても地域の方々に利用してもらえようエアポートシティとしての役割を果たしていければと考えている。努力目標として、旅行での利用以外の買い物・その他で多く利用してもらいたい狙いがある。今回の買い物・その他が多い結果の将来性・需要をどのように感じたか伺いたい。

**【小川氏】**

買い物の頻度として週1回、月に2回・3回といった利用の回答もあり、買い物目的で空港を利用されている方も一定数いらっしゃる。ことが今回の調査で分かった。その他の目的で気になったところは成田空港を経由して、鉄道に乗って移動される方や、乗り継いで高速バスなどを利用して他の地方に向かう方なども自由回答で見受けられたので、ハブとしての役割が空港にはあると感じることができた。

**【田中委員】**

富里市から成田空港への利用から、逆に空港に来られた方が富里市にくる視点が加味されるとより盛り上がり、自治体、事業者としてもより役立つかなと感じた。

**(6) キャロリン号導入における Well-Being への影響について**

**【会 長】**

研究者から説明を求める。(資料9を基に事務局より説明)。

**【会 長】**

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問は



あるか。

**【馬上委員】**

途中経過ということで、これからさらに研究を進めると思うが、現在のサービス内容を、こうしたかたちに変えるとより幸福度が高まるといったこと、改善提案のかたちまで繋げていくと更に有意義な良い研究になると感じた。

**【角田氏】**

利用者側からの意見として、乗客やドライバーの方との会話が楽しいであったり、やりたいことができるようになったなどの回答があり幸福度に繋がっていると思う。実現するために、予約がしにくい、乗降ポイントを増やしてほしいなどの意見もあったことから、デマンド交通をより利用しやすい環境をつくっていくことで幸福度の向上に繋がっていき考えている。

**【馬上委員】**

結果について社内共有していきたいと考えている。有効回答数の部分で、資料10ページとなるが149部回収して有効回答が72部となっている理由を教えてください。

**【角田氏】**

42項目全てを回答いただいた方を対象に今回集計させていただいた関係でのことである。

**【石井委員】**

同じような文言の繰り返しがあり分かりづらかったという意見も聞いた。有効回答数からすると、分かりにくくてどう答えたらよいか分からなかった方もいらっしゃるのではないかなと感じた。

**【角田氏】**

直接意見を伺いながら設問を絞り込んだが、かなり設問が多くなっておりご意見を活かしていければと思う。

**【成田委員】**

Well-Being によるデマンド交通でのアンケートはどういった考えがあつてのことか伺いたい。

**【角田氏】**

デマンド交通の特性として収支率を重視するというビジネス的な視点よりも福祉サービスとしての役割、市民の方の健康寿命延伸の効果などの評価が高いのではないかと、利用者から求められているので



はないかと考えた。

#### 【伊東委員】

総括させていただくと、空港アクセスバスについて収支率 78.5% ということで微妙な数字となっており、このままであれば市からの補助が必要となってくる状況である。先ほど指摘いただいたとおり、空港からの利用、富里市に入ってくる方の利用のことも考えていく必要がある。交通を考えるとときに立地も密接に関係してくるので、空港で働く方をどのようなところに住んでいただくかなど、そうした施策との組み合わせが重要である。空港から富里へ来ていただける外国の方たちも重要と思う。

これまで Well-Being の研究は少なく、今までは QOL が多く、幸福度指標も多少はあった。断片的な効果は過去の研究では明らかになっていたが、デマンド交通の調査の中では多くの効果がみられた調査であったと感じている。富里市のデマンド交通利用後の幸福度 8.24 となったが、これは高い数値で他の自治体の平均は 6.5 くらいである。

かなり市民の足として根付いている状況がわかった。資料 18 ページのなかでいうと、病院への通院や買い物がしやすくなったなど利便性が優位になるのではないかと思っていたが、実は精神的な健康、新しい友人関係ができたなどの結果が優位となっており、デマンド交通の影響が大きいということが驚きであった。

富里市で力を入れている施策がこうして数字として出てきたということではないかと考えている。見えない部分での好影響も大きいのではないかと感じる。

－会長引き続き進行－

## 5 その他

#### 【会長】

報告事項については以上となる。次第 5 の、その他となるが委員の皆様から何かあるか。

#### 【馬上委員】

無断キャンセルが月当たり 100 件程度あるということで、本当に乗りたい方が利用できない状況がある。今後、無断キャンセルを抑制するために、次回利用時にキャンセル料を徴収するなどの施策も考えて



いかなければならないのではないかと感じている。今後の検討課題と  
いうことでお願いしたい。

**【会長】**

無断キャンセルの状況は把握しており、現在のところ無断キャンセル料の徴取は行っていないが、今後どうするのか検討していく必要を感じている。仮に徴収するとしても、十分な周知期間を設けることは必要と思う。検討の際には、今後の会議の中でしっかりと提案して意見をいただきながら進めていきたいと考えている。

**6 閉 会**

-以上

